

2026年8月期 国内事業 月次売上速報
(2025年9月1日～2026年8月31日)

2026/5/12
フェスタリアホールディングス株式会社

■売上高推移

(単位：%)

		前 期 比														
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	合計
全店(※1)	売上高	94.8	111.7	102.9	105.4	115.3	107.4	106.1	122.9	121.9					122.4	109.7
	客数	89.9	97.7	99.8	95.1	101.6	100.2	97.2	105.6	109.4					107.5	99.3
	客単価	105.5	114.3	103.1	110.8	113.5	107.2	109.1	116.4	111.4					113.9	110.5
既存店(※2)	売上高	94.6	110.8	101.9	104.9	112.8	107.6	104.8	120.0	118.6					119.3	107.5
	客数	90.0	95.3	97.1	92.9	99.5	98.3	94.9	100.6	107.3					104.0	96.0
	客単価	105.1	116.3	105.0	112.9	113.4	109.4	110.4	119.3	110.6					114.7	112.0

(※1) 全店：国内直営店+EC+富裕層ビジネス

(※2) 既存店：前期期首から期末まで通年で稼働した国内直営店

■月次動向(4月度)

<p>【販売情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月の既存店売上は、原材料価格の高騰を踏まえ、商品ラインナップの広範囲において価格改定を実施したものの、販売への影響は限定的にとどまりました。加えて、フェスタリア20周年企画の新作ファッションジュエリーやブライダル関連商品が引き続き好調に推移したことから、大幅な増収となりました。 EC売上は、前月に引き続き、システム変更に伴う自社オンラインサイト停止の影響を受けたものの、他社モールにおけるキャンペーン施策が奏功し、増収を確保しました。 富裕層ビジネスは、催事への参画や金融機関のウェルスマネジメント部門との連携を通じて、希少性の高い商材の販売が堅調に推移し、増収となりました。 <p>【名簿数の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月末時点の登録名簿数は43.3万人となり、前期末(8月末)の38.8万人から4.5万人増加し、前期末比11.6%の増加となりました。
--

◆店舗数推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期平均稼働店舗数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期平均稼働店舗数	通期平均稼働店舗数
国内直営店舗数	当期	76	75	76	76	75	75	76	75	78					77	76
	前期	77	77	77	77	77	75	77	75	75	75	75	75	75	75	76

◆出退店・改装情報(4月度)

<p>【出店】 セレオ八王子店(4/22リニューアルオープン)、イオンモールKAGOSHIMA BAY店(4/24)、サンエー西原シティ店(4/24)</p> <p>【退店】</p> <p>【改装】</p>
--